

再生可能エネルギー世界展示会出展報告

日本風力発電協会 事務局長 花岡隆夫

2014年7月30日から8月1日までの3日間にわたり、東京ビッグサイトで開催された「第9回再生可能エネルギー世界展示会」(GRE2014)にJWPAが下記3社と共同ブースを出展しました。(第7回からJWPAは共同ブースを出展しております)今回共同ブースに出展されたのは、(株)駒井ハルテック、(株)アサヒ防災設備、九州大学大屋研究室の3者です。

九州大学大屋研究室殿はJWPAの会員ではありませんが、同じ風力発電の研究をされているということで今回ご一緒していただくことになりました。また、駒井ハルテック殿は3年連続、アサヒ防災設備殿は初めての参加となりました。

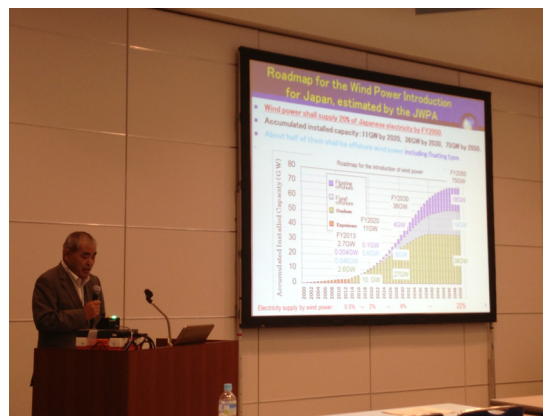
展示会場は、同時開催されたPV Japanの影響もあり、3日間で4万2千人の来場者でにぎわいました。初日のオープニングセレモニーでは経済産業省新エネ対策課の片岡課長がご挨拶され、にぎにぎしくテープカットによりスタートしました。



オープニングセレモニーで挨拶される片岡課長

また、今年は4年に一度の再生可能エネルギー国際会議も同時に開催され、風力関係だけでも100本近い講演が行われましたが、その中で風力分野のPlenary招待講演としてJWPAの中村専務理事が中長期導入目標とロードマップについて講演されました。

(Target & Roadmap for Japanese Wind Power)



講演される中村専務理事

協会としては、全国ポテンシャルマップと風力発電所マップ(それぞれA0版)及び昨年度の写真コンテストの優秀作品を展示しました。また「風力発電の現状と課題」というパンフレット(A4サイズ8ページ)を作成し、発電所マップの縮刷版と一緒に配布しました。

共同ブースへの来場者数は把握していませんが、協会が用意したパンフレットは約750部また、ポテンシャルマップは900部ほど配布しましたので、ブースへの来場者は3千人を超えたものと思われます。(昨年と同じ規模)協会のブースに立ち寄られた方の多くは発電所マップとポテンシャルマップを見て、ポテンシャルが北海道、東北に偏在していることに驚かされていました。また協会への入会を検討しているという方も何名がおられましたので、一生懸命宣伝させて頂きました。



7月31日には小泉元首相が展示会場の視察にお見えになりました。大勢の報道陣と野次馬を引き連れて福島ブースを見学される小泉元首相